

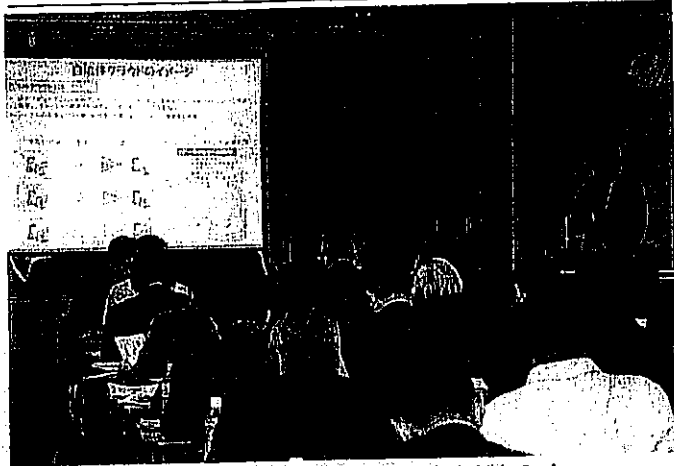
自治体情報化いかに

盛岡で「クラウド」利点学ぶ
セミナー

総務省東北総合通信
局など主催の「電波利
用推進&地域情報化セ

ミナー」は19日、盛岡
市盛岡駅西通の1目的
マリオスで開かれ、行
政情報システムを自治
体間で共用する「自治
体クラウド」について
学んだ。

自治体クラウドは、
複数市町村が税務や住



自治体クラウドの特性や利点を学んだセミナー

民基本台帳などの情報
を外部のデータセンタ
ーに預け、各自治体の
端末を通じ利用する。
システム統合による経
費削減や電子行政化に
よる利便性向上、災害
時のデータ保存などが
期待される。

自治体担当者ら約1
50人が参加し、国や
情報関連企業の担当者
が導入例などを紹介。
総務省地域情報政策室

の浜島秀夫室長、同省
地方情報化推進室の西
泉彰雄室長が「自治体
クラウドの推進と地域
情報プラットフォーム
の今後の展開につい
て」と題し講演した。

結果などを踏まえ▽事
前に自治体間で事務シ
ステムを共同化すると
費用軽減が進む▽災害
時に住民情報を守り、
行政機能の早期復旧を
促す▽特別交付税の措
置対象になる▽などの
効果や利点を紹介。
「多くの自治体が限
られた行政資源を有効
に生かし、災害に強い
自治体クラウドを活用
できるよう継続的に支
援したい」と述べた。